

オンライン

令和5年度都市デザイン実務講習会

令和5年11月29日 [水] 13:30-17:00



13:30 開会 (13:20 頃より Zoom 開場)

13:35 街の公共サインを点検する ～外国人の視点から～

(60分)

街の公共サインにはローマ字がついています。ところが、多くの外国人は平仮名の方がよく読めます。同じ地名なのにサインによって表示が違うということが日本ではよくあります。国のガイドラインを基に、現場の混乱の原因を探ります。



岩田 一成氏

聖心女子大学 現代教養学部 日本語日本文学科 教授

1974年生まれ。大阪大学言語文化研究科博士後期課程修了。博士(言語文化学)。国際交流基金日本語国際センター、広島市立大学国際学部を経て現職。専門は日本語教育学。著書に「読み手に伝わる公用文」(大修館書店)、「街の公共サインを点検する」(大修館書店・共著)、「新しい公用文作成ガイドブック」(日本加除出版)など。

休憩
(10分)

14:45 日常を豊かにする公園・広場のデザイン - 九段坂公園、ナギテラス、益城町震災記念公園を通して -

(60分)

山田さんのご専門は景観デザイン、土木デザイン。岡山県奈義町のナギテラス(グッドデザイン賞、土木学会デザイン賞)や九段坂公園をはじめ、多くの実践に取り組まれています。これまでのご経験から、土木・景観デザインのいまとこれからについて、ご講演いただきます。



山田 裕貴氏

株式会社 Tetor 代表取締役、株式会社風景工房 共同代表、法政大学兼任講師など

1984年愛媛県生まれ。2006年熊本大学工学部環境システム工学科卒業。2008年同大学院修士課程修了。2011年東京大学大学院社会基盤学専攻博士課程修了。博士(工学)。2016年株式会社Tetor 設立、同代表取締役。専門は景観デザイン、土木デザイン。

主な受賞歴に2023 JLAU Award 2022 新人賞・伊藤香織賞、グッドデザイン賞、土木学会デザイン賞など。

休憩
(10分)

15:55 まちを開く都市デザイン ～神戸三宮「サンキタ通り・サンキタ広場(阪急神戸三宮駅前広場)より」～

(60分)

東京駅 丸の内広場及び行幸通り、日向市駅前広場、女川町震災復興、出雲大社参道 神門通りなどをはじめとする日本各地の都市空間や土木のデザインに携わり、数多くの賞を受賞している小野寺康さん。これまでのご経験などを踏まえて、景観デザインのいまとこれからについて、ご講演いただきます。



小野寺 康氏

小野寺康都市設計事務所代表

1962年北海道生まれ。東京工業大学工学部社会工学科卒業、同大学大学院社会学専攻修士課程修了。アプル総合計画事務所を経て、1993年小野寺康都市設計事務所設立。

日向市駅前広場設計、姫路北駅前広場、道後温泉本館周辺地区、女川町震災復興、出雲大社参道・神門通りなどに携わり、グッドデザイン賞金賞、土木学会デザイン賞最優秀賞など多くの賞を受賞。

17:00 終了

申込方法 令和5年11月22日(水)までに、HP内参加申込フォームよりお申込みの上、参加費をお支払いください。

参加費 2,000円(udc賛助会員は無料)

主催 (公財)都市づくりパブリックデザインセンター
TEL: 03-6912-0799 E-mail: contactez_add@udc.or.jp HP: <https://www.udc.or.jp>